

令和 7 (2025) 年度

横中シラバス



大阪市立横堤中学校

☆「シラバス」の作成にあたって

この冊子は、横堤中学校の年間の学習内容（カリキュラム）や評価のしかたについてまとめたものです。本校の学習活動の全般を、生徒のみなさんや保護者の皆様に、より一層理解していただくために作成いたしました。

各教科の学習進度予定や評価方法の基準と内容について、また年間のテスト計画もまとめています。ご確認ください。

年度初めにあたり、生徒のみなさんへは教科ごとに「学習の内容」や「授業を受けるにあたっての心構え」などについて、教科担当から話をしていますが、保護者の方も確認していただければ幸いです。

この一年間の学習目標を立てるためにも、ぜひご確認ください、子ども達の学習目標の設定に役立てていただきますようお願いいたします。

なお、学習進度上、多少の変更等が出る場合もございますので、そのときは、必要に応じて連絡させていただきます。

個に応じた指導の充実について

個に応じた指導の充実をめざして、各学年の国語・数学・英語等の授業におきまして基礎・基本の内容をより確実に定着させるために、『習熟の程度に応じたコース別学習』を実施しております。通常のクラスを分割して少人数の授業を行ったり、2人の先生が同じクラスに入って授業を行ったり（T.T.）することで生徒の学習内容の理解や学習意欲の向上を図りたいと考えています。

できるだけ、きめ細やかな指導を展開しながら、生徒個々の能力に応じた学習を推進し、個々の学力向上に努めていきます。

令和 7 (2025) 年度 評価評定について

令和 7 年 6 月

通知表の評価を、3 段階の「観点別学習状況」の評価と 5 段階の「評定」を用いて行います。その基準については、以下の通りです。

1. 「観点別学習状況の評価」について

個人内のよい点や可能性、進歩の状況などを表しています。

教科ごとにそれぞれの観点を A・B・C の 3 段階で評価します。

A・・・十分満足できる

B・・・おおむね満足できる

C・・・努力を要する

* 次のページ以降に、教科ごとの目標や規準などを示しています。

2. 「評定」について

総合点を参考にして、個人の学習状況の達成度を 5 段階で評価します。

5: 「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの

4: 「十分満足できる」状況と判断されるもの

3: 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

2: 「努力を要する」状況と判断されるもの

1: 「一層努力を要する」状況と判断されるもの

3. 評価の期間について

1 学期の「評定」・・・4 月～ 7 月の学習の実現状況の評価

2 学期の「評定」・・・4 月～ 12 月の学習の実現状況の評価

学年末の「評定」・・・4 月～ 3 月の学習の実現状況の評価

『定期テスト日程』について

1 学期中間テスト 5 月 22 日 (木) ～ 23 日 (金)

1 学期期末テスト 6 月 25 日 (水) ～ 27 日 (金)

2 学期中間テスト 10 月 9 日 (木) ～ 10 日 (金)

2 学期期末テスト 11 月 19 日 (水) ～ 21 日 (金)

学年末テスト (3 年) 1 月 21 日 (水) ～ 23 日 (金)

学年末テスト (1・2 年) 2 月 25 日 (水) ～ 27 日 (金)

『実力テスト日程 (3 年生対象)』について

第 1 回実力テスト 6 月 3 日 (火)

第 2 回実力テスト 8 月 26 日 (火) ～ 27 日 (水)

第 3 回実力テスト 10 月 21 日 (火)

第 4 回実力テスト 11 月 13 日 (木)

第 5 回実力テスト 1 月 14 日 (水)

※ 上記日程は予定になります。日程変更の場合もあります。

毎月の月中予定でご確認ください。

第 1 学年／国語科

授業内容、授業の進め方

・各領域・事項の系統性をふまえたうえで、身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。

・生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。

・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。

・音読・朗読・暗唱等の言語活動により、読みの理解力を向上させます。

・授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

・学習成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、学習内容の定着を図ります。

持ち物

・教科書 ・便覧 ・授業ノート ・ファイル ・漢字練習ノート ・自主学習ノート ・筆記用具(糊を含む)

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解使っている。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって報告しようとしている。 粘り強く表現を工夫し、今までの学習を生かして対話しようとしている。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。 積極的に表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、学習課題に沿って行事の案内の文章を書こうとしている。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって理解したことを報告しようとしている。 進んで登場人物の相互関係などを捉え、学習課題に沿って考えたことをスピーチしようとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> テスト ワークシート等提出物 観察 	<ul style="list-style-type: none"> テスト スピーチ, プレゼン, 暗唱, 発表, 説明, 討論の様子等 ワークシート等提出物 観察 	<ul style="list-style-type: none"> ノート, ワークシート等提出物 観察

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1 0	詩「朝のルー」 物語文「竜」 話す・聞く「グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる」
	5	1 6	言葉発見「音声のしくみとはたらき」 説明文「ペンギンの防寒着」、「クジラの飲み水」 文法（ことばの単位・文節の関係を学ぶ）
	6	1 6	漢字（活字と手書き文字・画数・筆順） 物語文「空中ブランコ乗りのキキ」 文法「言葉の単位・文節の関係」
	7	7	随筆「字のない葉書」 漢字「成り立ちと部首」
小計		4 9	
2	8	2	説明文「一〇〇〇円の価値を考える」
	9	1 8	説明文「一〇〇〇円の価値を考える」 話す・聞く「スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える」 読む「月を思う心」
	10	1 6	古文「竹取物語」（古文の読み方・古典の仮名遣い） 漢文「故事成語 矛盾」（漢文の読み方・訓読の仕方） 漢字「漢字の音と訓」
	11	1 6	図表「防災に関するデータ」 記録「みんなでいるから大丈夫の怖さ」 詩「それだけでいい」（詩の表現技法） 言語（比喩・倒置・反復・対句・体言止め）
	12	8	物語文「トロツコ」 書写
小計		6 0	
3	1	1 2	文法（単語の類別・品詞） 説明文「意味と意図 コミュニケーションを考える」 書写
	2	1 6	説明文「意味と意図」 物語文「少年の日の思い出」
	3	1 1	書く グループ新聞
小計		3 9	
合計		1 4 8	

第 2 学年／国語科

授業内容，授業の進め方

・各領域・事項の系統性をふまえたうえで，身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し，生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。

・生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。

・学習目標を明確にして，学習課題に意欲的に取り組んでいきます。

・音読・朗読・暗唱等の言語活動により，読みの理解力を向上させます。

・授業内容をメモしたり，自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

・学習成果を振り返ったり，伝えあったりすることにより，学習内容の定着を図ります。

持ち物

・教科書 ・便覧 ・ノート(B5サイズ) ・筆記用具 ・漢字ノート ・ファイル

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 ・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・本や文章などには，様々な立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・敬語の働きについて理解し，話や文章の中で使っている。 ・類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の活用，助詞や助動詞などの働き，文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・第 1 学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。 ・類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において，資料や機器を用いるなどして，自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えが明確になるように，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫している。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において，表現の工夫とその効果などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「書くこと」において，伝えたいことが分かりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，表現の効果を考えて描写するなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において，文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えている。 	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に表現を工夫し，学習課題に沿って提案しようとしている。 ・粘り強く自分の考えをまとめ，今までの学習を生かして議論しようとしている。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に自分の文章の改善点を見だし，学習課題に沿って意見を述べる文章を書こうとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し，学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。 ・進んで表現の効果を考えて描写し，今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に内容を解釈し，学習課題に沿って理解したことを説明しようとしている。 ・粘り強く登場人物の言動の意味を考え，学習課題に沿って引用して解説しようとしている。 ・積極的に文章を比較するなどし，学習課題に沿って出典を明らかにしながら考えたことを説明しようとしている。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	・テスト ・観察 ・ノート、ワークシート等提出物	・テスト ・観察 ・スピーチ、プレゼン、暗唱，聞き取りメモ，発表，説明，討論の様子等 ・ノート、ワークシート提出物等	・観察 ・振り返りシート、ノート、ワークシート等提出物

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	詩「名づけられた葉」 物語文「セミロングホームルーム」 言葉「話し言葉と書き言葉」 話す・聞く「グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める」
	5	1 6	論説文「宇宙に行くための素材」、「人間は他の星に住むことができるのか」 書く 手紙・メール
	6	1 6	短歌「短歌の世界／短歌十首」 古文「枕草子」 文法（用言の活用 まとめ）
	7	6	報告文「壁に残された伝言」 書写
小計		4 6	
2	8	2	論説文「味は味覚だけでは決まらない」
	9	1 6	論説文「味は味覚だけでは決まらない」 古文「徒然草」 言葉「敬語の意味と種類」 漢字「熟語の読み」
	10	1 7	古文「平家物語」（物語の転換点） 漢文「漢詩の世界」（漢詩の形式）
	11	1 7	解説「マンガ 情報の扱い方」 論説文「一〇〇年後の水を守る」 詩「大阿蘇」
	12	1 0	物語「小さな手袋」 文法（助詞・助動詞）
小計		6 2	
3	1	1 2	評論文「動物園でできること」
	2	1 6	物語文「走れメロス」 漢字「熟語の読み」 文法（1年間のまとめ）
	3	1 2	話す聞く「ビブリオバトル」 言語（1年間のまとめ）
小計		4 0	
合計		1 4 8	

第 3 学年／国語科

授業内容、授業の進め方

・各領域・事項の系統性をふまえたうえで、身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。

・生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。

・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。

・音読・朗読・暗唱等の言語活動により、読みの理解力を向上させます。

・授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

・学習成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、学習内容の定着を図ります。

持ち物

・教科書 ・便覧 ・ノート(B5サイズ) ・ファイル ・漢字ノート ・筆記用具

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題に沿って提案しようとしている。 粘り強く論理の展開を考え、今までの学習を生かして議論しようとしている。 <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って批評する文章を書こうとしている。 積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって新聞にまとめようとしている。 <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。 進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。 進んで文章を批判的に読み、学習課題に沿って読んだ内容について実生活への生かし方を考えようとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> テスト 観察 ノート、ワークシート等提出物 	<ul style="list-style-type: none"> テスト 観察 スピーチ、プレゼン、暗唱、聞き取りメモ、発表、説明、討論の様子等 ノート、ワークシート提出物等 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 振り返りシート、ノート、ワークシート等提出物

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	7	詩「言の森」 物語文「握手」 言葉「敬語のはたらき」
	5	1 2	グループディスカッション 論説文「間の文化」
	6	1 2	文法（表現につながる文法） 書く 課題作文 俳句「俳句の世界・俳句十句」
	7	6	書く「批評文」 言葉「和語・漢語・外来語」
小計		3 7	
2	8	2	随想「海を越えた故郷の味」
	9	1 2	論説文「フロン規制の物語」 話す聞く（パブリックスピーキング） 和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」
	10	1 2	古文「おくのほそ道」 漢文「論語」 漢字（漢字のしくみ）
	11	1 2	論説文「見たいものだけ見る私たち」 言葉「慣用句・ことわざ・故事成語」
	12	6	詩「初恋」 物語文「故郷」
小計		4 4	
3	1	9	漢字「四字熟語」 論説文「文殊の知恵の時代」 物語文「坊ちゃん」
	2	1 2	言語（名言集） 文法（3年間の総まとめ）
	3	3	言語（3年間の総まとめ）
小計		3 0	
合計		1 1 1	

第 1 学年／社会科

授業内容、授業の進め方

- 基礎・基本を大切に授業を行います。
- 生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点化を図ります。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

持ち物

- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 地図帳（地理の授業のとき）
- 色鉛筆（地理の授業のとき）
- 自主学習ノート（B5）家庭学習の際、必要。授業では使わない。

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価 基準	十分満足できる……A、おおむね満足できる……B、努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 小テスト ● ファイル（授業プリント） ● 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 小テスト ● MQ（ワークシート） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル（授業プリント） ● 問題集 ● MQ（ワークシート） ● 発表や発言の様子・自主学習ノート

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	地理 【世界と日本の地域構成】 世界の姿
	5	8	【世界と日本の地域構成】 日本の姿 【世界のさまざまな地域】 人々の生活と環境
	6	12	【世界のさまざまな地域】 人々の生活と環境 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 アジア州
	7	6	歴史 【私たちと歴史】 【古代までの日本と世界】 人類の始まりと文明
小計		34	
2	8	3	【古代までの日本と世界】 日本列島の人々と国家の形成
	9	10	【古代までの日本と世界】 日本列島の人々と国家の形成 【古代までの日本と世界】 古代国家の展開
	10	12	【中世の日本と世界】 古代から中世へ
	11	12	【中世の日本と世界】 鎌倉幕府の成立
	12	7	【中世の日本と世界】 室町幕府と下剋上
小計		44	
3	1	9	地理 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 ヨーロッパ州 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 アフリカ州
	2	12	【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 北アメリカ州 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 南アメリカ州
	3	6	【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 オセアニア州
小計		27	
合計		105	

第 2 学年／社会科

授業内容，授業の進め方

- 基礎・基本を大切に授業を行います。
- 生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点化を図ります。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

持ち物

- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 地図帳（地理の授業のとき）
- 色鉛筆（地理の授業のとき）
- 自主学習ノート（B5）家庭学習の際、必要。授業では使わない。

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	我が国の国土及び世界の諸地域に関して，地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
	我が国の歴史の大きな流れを，世界の歴史を背景に，各時代の特色を踏まえて理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 小テスト ● ファイル（授業プリント） ● 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 小テスト ● ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル（授業プリント） ● 問題集 ● ワークシート ● 発表や発言の様子・自主学習ノート

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	地理 【日本のさまざまな地域】 日本の地域的特色 日本の地形、日本の気候、自然災害
	5	8	【日本のさまざまな地域】 身近な地域の調査 【日本のさまざまな地域】 日本の地域的特色
	6	12	【日本のさまざまな地域】 日本の地域的特色 【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 九州地方 【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 中国・四国地方
	7	6	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 近畿地方
小計		34	
2	8	3	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 中部地方
	9	10	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 関東地方 【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 東北地方
	10	12	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 北海道地方 【地域の在り方】 地域の在り方 歴史 【近世の日本と世界】 中世から近世へ
	11	12	【近世の日本と世界】 江戸幕府の成立と東アジア 【近世の日本と世界】 産業の発達と元禄文化 【近世の日本と世界】 幕府政治の改革と農村の変化
	12	7	【日本の近代化】 欧米の発展とアジアの植民地化
小計		44	
3	1	9	【日本の近代化】 近世から近代へ 【日本の近代化】 近代国家へのあゆみ
	2	12	【日本の近代化】 立憲制国家の成立
	3	6	【日本の近代化】 日清・日露の戦争と東アジアの動き 【日本の近代化】 近代の日本の社会と文化
小計		27	
合計		105	

第 3 学年／社会科

授業内容、授業の進め方

- 基礎・基本を大切に授業を行います。
- 生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点化を図ります。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

持ち物

- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 自主学習ノート（B5）家庭学習の際、必要。授業では使わない。

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 小テスト ● ファイル（授業プリント） ● 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 小テスト ● MQ（ワークシート） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル（授業プリント） ● 問題集 ● MQ（ワークシート） ● 発表や発言の様子・自主学習ノート

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	11	歴史 【二度の世界大戦と日本】 第一次世界大戦と戦後の世界 【二度の世界大戦と日本】 大正デモクラシーの時代
			公民 【現代社会と私たち】 現代社会の特色と私たち 【現代社会と私たち】 私たちの生活と文化
	5	12	歴史 【二度の世界大戦と日本】 大正デモクラシーの時代 【二度の世界大戦と日本】 世界恐慌と日本
			公民 【現代社会と私たち】 現代社会の見方や考え方 【個人の尊重と日本国憲法】 人権と日本国憲法
	6	15	歴史 【二度の世界大戦と日本】 第二次世界大戦と日本 【現代の日本と世界】 平和と民主化 【現代の日本と世界】 冷戦下の世界と経済大国化する日本
			公民 【個人の尊重と日本国憲法】 人権と日本国憲法 【個人の尊重と日本国憲法】 人権と共生社会
	7	9	歴史 【現代の日本と世界】 グローバル化と日本の課題
			公民 【個人の尊重と日本国憲法】 これからの人権保障
小計		47	
2	8	4	公民 【現代の民主政治と社会】 現代の民主政治
	9	14	【現代の民主政治と社会】 国の政治の仕組み 【現代の民主政治と社会】 地方自治と私たち
	10	16	【私たちの暮らしと経済】 消費生活と市場経済 【私たちの暮らしと経済】 生産と労働
	11	16	【私たちの暮らしと経済】 市場経済の仕組みと金融 【私たちの暮らしと経済】 財政と国民の福祉
	12	10	【私たちの暮らしと経済】 これからの経済と社会
小計		60	
3	1	12	【地球社会と私たち】 国際社会の仕組み 【地球社会と私たち】 さまざまな国際問題
	2	14	【地球社会と私たち】 これからの地球社会と日本 3年間のまとめ、総復習
	3	7	3年間のまとめ、総復習
小計		33	
合計		140	

第 1 学年／数学科

授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「新編 新しい数学1 東京書籍」と授業用プリント、演習用問題集「スパイラル式！数学のパターン演習1年 新学社」を用います。
- 教科書の補助教材として、授業用プリントを使用することもあります。また教科書の内容の解説、問題演習の順で授業を展開します。
- 本時の学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 生徒同士の教え合いや、班活動を通して、主体的、対話的で深い学び合いを目指します。
- 数学科では、復習を大切にしています。復習とは問題を解き、理解を深めることです。解いて終わりではなく、間違えた問題の解答、解説をよく読み、なぜ間違えたか、なぜ解けなかったかを、しっかり考えられるよう取り組んでいきます。

持ち物

- 教科書
- 問題集
- ノート（B5サイズ）
- フラットファイル（A4サイズ）
- 筆記用具
- 定規
- コンパス

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	整数の性質，正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力，数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度，多面的に捉え考えようとする態度を養う。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none">● 定期テスト● 小テスト	<ul style="list-style-type: none">● 定期テスト● 小テスト	<ul style="list-style-type: none">● 問題集● 宿題プリント● 授業のノート● 授業の観察● 振り返りシート等の提出状況と内容

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容 (章)	単元, 学習内容 (節)	
1	4	4	0 章 算数から数学へ	1 整数の性質	
		4	1 章 数の世界をひろげよう [正負の数]	1 正負の数	
	5	8		2 加法と減法	
		6		10	3 乗法と除法
	2			4 正負の数の利用	
	1			章末問題	
	7	8		2 章 数学のことは身につけよう [文字と式]	1 文字を使った式
		7	2 文字式の計算		
		3	3 文字式の利用		
		1	章末問題		
	小計		48		
	2	9	7	3 章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]	1 方程式とその解き方
			7		2 1次方程式の利用
1			章末問題		
10		6	4 章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例]	1 関数と比例・反比例	
		7		2 比例の性質と調べ方	
11		6		3 反比例の性質と調べ方	
		3		4 比例と反比例の利用	
		1		章末問題	
12		7	5 章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形]	1 図形の移動	
		8		2 基本の作図	
		2		3 おうぎ形	
		1		章末問題	
小計		56			
3	1	3	6 章 立体の見方をひろげよう [空間図形]	1 いろいろな立体	
		9		2 立体の見方と調べ方	
	2	5		3 立体の体積と表面積	
		1		章末問題	
		5	7 章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用]	1 データの整理と分析	
	2	2 データの活用			
	3	3		3 ことがらの起こりやすさ	
		1	章末問題		
	7	1 年間のまとめ	問題演習		
小計		36			
合計		140			

第 2 学年／数学科

授業内容，授業の進め方

- 教材は教科書「新編 新しい数学2 東京書籍」と授業用プリント、演習用問題集「スパイラル式！ 数学のパターン演習 2 年 新学社」を用います。
- 教科書の補助教材として、授業用プリントを使用することもあります。また教科書の内容の解説、問題演習の順で授業を展開します。
- 本時の学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 生徒同士の教え合いや、班活動を通して、主体的、対話的で深い学び合いを目指します。
- 数学科では、復習を大切にしています。復習とは問題を解き、理解を深めることです。解いて終わりではなく、間違えた問題の解答、解説をよく読み、なぜ間違えたか、なぜ解けなかったかを、しっかり考えられるよう取り組んでいきます。

持ち物

- 教科書
- 問題集
- ノート（B5サイズ）
- フラットファイル（A4サイズ）
- 筆記用具
- 定規
- コンパス

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	文字を用いた式と連立二元一次方程式，平面図形と数学的な推論，一次関数，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数値化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力，数学的な推論の過程に着目し，図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，複数の集団のデータの分布に着目し，その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none">● 定期テスト● 小テスト	<ul style="list-style-type: none">● 定期テスト● 小テスト	<ul style="list-style-type: none">● 問題集● 宿題プリント● 授業のノート● 授業の観察● 振り返りシート等の提出状況と内容

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容	
			章	節
1	4	9	1章 文字式を使って説明しよう [式の計算]	1 式の計算
				2 文字式の利用
				章の問題
		2		
	6	9	2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	1 連立方程式とその解き方
				2 連立方程式の利用
		7		5
	2			
	7	2	3章 関数を利用して問題を解決しよう	1 1次関数
2				
小計		35		
2	8	3	3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	1 1次関数の性質と調べ方
		5		
	10	6		2 2元1次方程式と1次関数
		5		3 1次関数の利用
		2		章の問題
		11	10	1 説明の仕組み
	2 平行線と角			
	12		6	3 合同な図形
		2	章の問題	
		6	5章 図形の性質を見つけて証明しよう	1 三角形
小計		45		
3	1	3	5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	1 三角形
		12		2 平行四辺形
		2		章の問題
	2	7	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	1 確率
		1	章の問題	
		6	7章 データを比較して判断しよう [データの比較]	1 四分位範囲と箱ひげ図
		1	章の問題	
小計		32		
合計		112		

第 3 学年／数学科

授業内容，授業の進め方

- 教材は教科書「新編 新しい数学3 東京書籍」と授業用プリント、演習用問題集「スパイラル式！数学のパターン演習3年 新学社」と「3年間の総まとめ 問題集 新学社」を用います。
- 教科書の補助教材として、授業用プリントを使用することもあります。また教科書の内容の解説、問題演習の順で授業を展開します。
- 本時の学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 生徒同士の教え合いや、班活動を通して、主体的、対話的で深い学び合いを目指します。
- 数学科では、復習を大切にしています。復習とは問題を解き、理解を深めることです。解いて終わりではなく、間違えた問題の解答、解説をよく読み、なぜ間違えたか、なぜ解けなかったかを、しっかり考えられるよう取り組んでいきます。

持ち物

- 教科書
- 問題集
- ノート（B5サイズ）
- フラットファイル（A4サイズ）
- 筆記用具
- 定規
- コンパス

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y = ax^2$ ，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 実力テスト ● 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 実力テスト ● 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題集 ● 宿題プリント ● 授業のノート ● 授業の観察 ● 振り返りシート等の提出状況と内容

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容 (章)	単元, 学習内容 (節)
1	4	8	1 章 文字式を使って説明しよう [多項式]	1 多項式の計算
	5			2 因数分解
				6
		5		
		6	2 章 数の世界をさらにひろげよう [平方根]	1 平方根
	6	2 根号をふくむ式の計算		
	8	3 平方根の利用		
	6	1		章末問題
		1		
	7	10	3 章 方程式を利用して問題を解決しよう [2 次方程式]	1 2 次方程式とその解き方
1		2 2 次方程式の利用		
小計		46		
2	8	3	3 章 方程式を利用して問題を解決しよう [2 次方程式]	2 2 次方程式の利用
		1		章末問題
		3		
	9	8	4 章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$]	1 関数 $y=ax^2$
		5		2 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方
		1		3 いろいろな関数の利用
				章末問題
	10	9	5 章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形]	1 相似な図形
		8		2 平行線と比
	11	5		3 相似な図形の面積と体積
		1		章末問題
		6		6 章 円の性質を見つけて証明しよう [円]
	3	2 円周角の定理の利用		
	1	章末問題		
		12	4	
		4		2 三平方の定理の利用
小計		62		
3	1	4	7 章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	2 三平方の定理の利用
		1		章末問題
		5	8 章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査]	1 標本調査
		1		章末問題
	2	10	3 年間のまとめ	
		11	入試対策	
	3			
小計		32		
合計		140		

第 1 学年／理科

授業内容、授業の進め方

- 教室での座学で様々な現象の「見方・考え方」を学習する。
- 「見方・考え方」を働かせながら班で実験・観察を行い、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につなげる。
- 実験後のレポート等で、学習した内容を日常的な現象に置き換え、生徒自身に「疑問」を持たし、その疑問を解決するために様々な知識をアウトプットし、その知識同士を結び合わせることで解決し、「探究」する力を育てる。

持ち物

- 教科書
- ノート
- 理科の自主学習

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 ・水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・物体に力をはたらかせる観察、実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることや、力は大きさと向きによって表されること、物体にはたらく2力のつり合う条件を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 ・光について問題点を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。 ・音について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。 ・力について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。 ・火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだし表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。 ・物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようにする。 ・光に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようにする。 ・音に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようにする。 ・力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようにする。 ・火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	● 定期テスト	● 定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業中の発言、取り組む姿勢 ● 実験・観察・レポート ● ノート、ワーク等の提出物

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	6	【単元1】いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた
	5	10	第2章 植物の分類
	6	10	第3章 動物の分類
	7	8	【単元3】身のまわりの現象 第1章 光の世界
小計		34	
2	8	3	第1章 光の世界
	9	10	第2章 音の世界 第3章 力の世界
	10	11	第3章 力の世界 【単元4】大地の変化 第1章 火をふく大地
	11	11	第2章 動き続ける大地 第3章 地層から読みとる大地の変化
	12	10	第3章 地層から読みとる大地の変化 【単元2】身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質
小計		45	
3	1	8	第1章 身のまわりの物質とその性質
	2	10	第2章 気体の性質 第3章 水溶液の性質
	3	8	第4章 物質の姿と状態変化
小計		26	
合計		105	

第 2 学年／理科

授業内容、授業の進め方

- 教室での座学で様々な現象の「見方・考え方」を学習する。
- 「見方・考え方」を働かせながら班で実験・観察を行い、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につなげる。
- 実験後のレポート等で、学習した内容を日常的な現象に置き換え、生徒自身に「疑問」を持たし、その疑問を解決するために様々な知識をアウトプットし、その知識同士を結び合わせることで解決し、「探究」する力を育てる。

持ち物

- 教科書
- ノート
- 理科の自主学習

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら物質の分解や原子・分子・酸かと還元・化学変化と熱・質量変化の規則性について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら生物のつくりの特徴について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・気象要素と天気の変化との関係に注目しながら気象観測・霧や雲の発生・前線・日本の天気について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・電流に関する事物・事象を日常生活や社会と関連付けながら回路と電流・電圧・抵抗・エネルギー・静電気・放射線・磁界・電磁誘導・発電について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の成り立ち・化学変化・化学変化と部屋の質量について見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、はたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ・生物の体とつくりとはたらきについて見通しをもって観察、実験などを行い、はたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。 ・気象観測・霧や雲の発生・前線の通過と天気の変化・日本の気象・自然の恵みと気象災害についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ・電流・静電気や電子・電流と磁界に関する現象について観察、実験などを行い、はたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の成り立ち・化学変化・化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・生物の体のつくりと働き・生命を維持する働き・刺激と反応に関する事物・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・気象観測・霧や雲の発生・前線の通過と天気の変化・日本の気象・自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・電流・静電気や電子・電流と磁界に関する現象に関する事物・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	● 定期テスト	● 定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業中の発言、取り組み姿勢など ● 実験・観察・レポートなど ● ノート、ワーク等の提出物

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容	
1	4	11	【単元 2】生物の体のつくりとはたらき 第 1 章 生物と細胞	【単元 3】天気とその変化 第 1 章 気象の観測
	5	13	第 2 章 植物のからだのつくりとはたらき	第 1 章 気象の観測
	6	16	第 2 章 植物のからだのつくりとはたらき	第 1 章 気象の観測
	7	8	第 3 章 動物のからだのつくりとはたらき	第 1 章 気象の観測
小計		48		
2	8	3	【単元 1】化学変化と原子・分子 第 1 章 物質のなりたち	第 1 章 気象の観測
	9	13	第 1 章 物質のなりたち	第 2 章 雲のでき方と前線
	10	16	第 2 章 物質どうしの化学変化	第 2 章 雲のでき方と前線
	11	16	第 3 章 酸素がかかわる化学変化	第 2 章 雲のでき方と前線
	12	9	第 4 章 化学変化と質量の質量 第 5 章 化学変化とその利用	第 3 章 大気の動きと日本の天気
小計		57		
3	1	12	【単元 4】電気の世界 第 1 章 静電気と電流 第 2 章 電流の性質	第 3 章 大気の動きと日本の天
	2	15	第 3 章 電流と磁界	第 3 章 大気の動きと日本の天
	3	8	第 3 章 電流と磁界	第 3 章 大気の動きと日本の天
小計		35		
合計		140		

第 3 学年／理科

授業内容、授業の進め方

- 教室での座学で様々な現象の「見方・考え方」を学習する。
- 「見方・考え方」を働かせながら班で実験・観察を行い、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につなげる。
- 実験後のレポート等で、学習した内容を日常的な現象に置き換え、生徒自身に「疑問」を持たし、その疑問を解決するために様々な知識をアウトプットし、その知識同士を結び合わせることで解決し、「探究」する力を育てる。

持ち物

- 教科書
- ノート
- 理科の自主学習

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、微生物の働きなどを調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。 ・生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。 ・身近な自然界のつながりなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて、科学的に考察して判断している。 ・運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。 ・地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。 ・身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・自然と人間に関する事物・現象、科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 実力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 実力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業中の発言、取り組み姿勢 ● 実験・観察・レポート ● ノート、ワーク等の提出物

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	11	【単元 1】化学変化とイオン 第 1 章 水溶液とイオン
	5	13	第 2 章 アルカリとイオン 第 3 章 化学変化と電池
	6	16	第 3 章 化学変化と電池 【単元 2】清明の連続性 第 1 章 生物の成長と生殖
	7	8	第 2 章 遺伝の規則性と遺伝子
小計		48	
2	8	3	第 3 章 生物の多様性と進化
	9	13	第 3 章 生物の多様性と進化 【単元 3】運動とエネルギー 第 1 章 物体の運動
	10	16	第 1 章 物体の運動 第 2 章 力のはたらき方 第 3 章 エネルギーと仕事
	11	16	第 3 章 エネルギーと仕事 【単元 4】地球と宇宙 第 1 章 地球の運動と天体の動き
	12	9	第 1 章 地球の運動と天体の動き 第 2 章 月と金星の見え方
小計		57	
3	1	12	第 3 章 宇宙の広がり 【単元 5】地球と私たちの未来のために 第 1 章 自然のなかの生物
	2	15	第 2 章 自然環境の調査と保全 第 3 章 科学技術と人間
	3	8	終章 持続可能な社会のために
小計		35	
合計		140	

第 1 学年／音楽科

授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「中学生の音楽 1 教育芸術社」、「中学生の器楽 教育芸術社」と授業用プリントとアルトリコーダーを用います。
- 学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けていきます。
- 音楽を自分なりに評価しながら、言葉で説明したり、グループで批評したりする活動を行い、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てます。

持ち物

- ・筆記用具
- ・中学生の音楽 1
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・ガーゼ
- ・体育館シューズ

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声や楽器の音色や響き、及び言葉の特性と曲種に応じた発声や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 ・音のつながり方の特徴について理解して、音素材の特徴及び音の重なり方や反復・変化・対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		

評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察
----------	---	---	---

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	曲の構成を理解して演奏しよう。「校歌」「主人は冷たい土の中に」
	5	4	音楽の特徴を感じ取り、音楽の要素の工夫と表現のつながりを考えよう。鑑賞「動物の謝肉祭」 リコーダーを演奏しよう。
	6	3	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。「浜辺の歌」 リコーダーを演奏しよう。
	7	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 構成を工夫して音楽を作ろう。
小計		12	
2	8	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	9	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	10	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	11	4	詩の内容と曲想との関わりを感じよう。「魔王」
	12	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。「君をのせて」
小計		15	
3	1	8	日本の伝統音楽に親しみ、その良さを味わおう。～尺八、箏～ 箏を演奏しよう。 日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。箏曲「六段の調」
	2	4	構成を工夫して音楽を作ろう。 リコーダーを演奏しよう。
	3	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。
小計		16	
合計		45	

第 2 学年／音楽科

授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「中学生の音楽 2・3 上 教育芸術社」、「中学生の器楽 教育芸術社」と授業用プリントとアルトリコーダーを用います。
- 学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けていきます。
- 音楽を自分なりに評価しながら、言葉で説明したり、グループで批評したりする活動を行い、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てます。

持ち物

- ・筆記用具
- ・中学生の音楽2・3上
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・ガーゼ
- ・体育館シューズ

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・声や楽器の音色や響き及び言葉の特性、奏法と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌ったり、演奏するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方、奏法などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部などを聴きながら他者と合わせて歌唱、演奏技能を身に付けている。 ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		

評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察
----------	---	---	---

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。「翼をください」 リコーダー演奏しよう。
	5	4	旋律が追いかけるように重なり合っていく面白さを味わおう。「フーガト短調」 リコーダーを演奏しよう。
	6	3	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。「夏の思い出」 創作をしよう。
	7	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 指揮をしてみよう。
小計		12	
2	8	1	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	9	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	10	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	11	3	曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。「交響曲第5番 八短調」 リコーダーを演奏しよう。
	12	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 ギターを演奏しよう。
小計		13	
3	1	4	日本の伝統芸能に親しみ、その良さを味わおう。「勸進帳」 リコーダーを演奏しよう。
	2	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。
	3	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 創作をしよう。
小計		10	
合計		35	

第 3 学年／音楽科

授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「中学生の音楽2・3下 教育芸術社」、「中学生の器楽 教育芸術社」と授業用プリントとアルトリコーダーを用います。
- 学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けていきます。
- 音楽を自分なりに評価しながら、言葉で説明したり、グループで批評したりする活動を行い、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てます。

持ち物

- ・筆記用具
- ・中学生の音楽2・3下
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・ガーゼ
- ・体育館シューズ

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・声や楽器の音色や響き及び言葉の特性、奏法と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌ったり、演奏するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方、奏法などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部などを聴きながら他者と合わせて歌唱、演奏技能を身に付けている。 ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		

評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察
----------	---	---	---

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	日本の歌の良さや美しさを味わい、表現を工夫しよう「花」 リコーダーを演奏しよう。
	5	4	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。「ブルタバ」 リコーダーを演奏しよう。
	6	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 リコーダーを演奏しよう。
	7	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
小計		12	
2	8	1	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	9	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	10	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 ギターを演奏しよう。
	11	3	曲の良さをプレゼンテーションしよう。「ボレロ」
	12	3	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。 ギターを演奏しよう。
小計		14	
3	1	3	能に親しみ、その音楽を味わおう。 リコーダーを演奏しよう。
	2	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。式歌
	3	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。式歌
小計		9	
合計		35	

第 1 学年／美術科

授業内容，授業の進め方

- 各領域・事項の系統性を踏まえたうえで、創造活動の喜びを味わい身に付けさせる基礎・基本となる学習を厳選し、生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点を図っています。
- 生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます
- 学習成果を振り返ったり、鑑賞したりすることにより、学習内容の定着を図ります。

持ち物

- 教科書
- 美術資料集
- ファイル
- 絵の具
- 雑巾
- 鉛筆・筆記用具
- 色鉛筆
- 彫刻刀

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識及び技能（40％）	思考力、判断力、表現力（40％）	主体的に学習に取り組む態度（20％）
評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●制作活動の様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●完成作品 	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●グループワークでの様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●提出物、発表、鑑賞などの内容 ●授業態度

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1 3	【オリエンテーション】美術との出会い 【デ・工】構成美の要素
	5	3 1	【デ・工】構成美の要素 【資料】色についての学習
	6	1 1 1 2	【資料】色についての学習 【資料】【デ・工】絵の具の使い方 【絵・デ】レタリング（漢字のデザイン） 【資料】東洋美術史
	7	3	【絵・デ】レタリング（漢字のデザイン）
小計		16	
2	8	2	【2学期の学習】鑑賞
	9	3 3	【デ・工】パッケージデザイン 【デ・工】シンボルマークのデザイン
	10	2 3	【資料】彫刻技法 【絵・彫】木箱の装飾
	11	3	【資料】西洋美術史
	12	2 1	【絵・彫】木箱の装飾 【鑑賞】鑑賞・まとめ
小計		19	
3	1	2 2	【3学期の学習】鑑賞 【絵・彫】木箱の装飾
	2	4	【デ・工】デッサンとクロッキー
	3	2	【鑑賞】鑑賞・まとめ
小計		10	
合計		45	

第 2 学年／美術科

授業内容、授業の進め方

- 各領域・事項の系統性を踏まえたうえで、創造活動の喜びを味わい身に付けさせる基礎・基本となる学習を厳選し、生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点を図っています。
- 生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます
- 学習成果を振り返ったり、鑑賞したりすることにより、学習内容の定着を図ります。

持ち物

- 教科書
- 美術資料集
- ファイル
- 絵の具
- 雑巾
- 鉛筆・筆記用具
- 色鉛筆
- 定規
- 墨汁
- 墨汁用の筆

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識及び技能（40％）	思考力、判断力、表現力等（40％）	主体的に学習に取り組む態度（20％）
評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●制作活動の様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●完成作品 	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●グループワークでの様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●提出物、発表、鑑賞などの内容 ●授業態度

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1 2	【オリエンテーション】 学びの実感と広がり 【デ・工】 透視図法について
	5	3	【デ・工】 一点透視図法で部屋を描こう
	6	2 2	【デ・工】 一点透視図法で部屋を描こう 【資料】 東洋美術史
	7	1 1	【鑑賞】 鑑賞・まとめ 【絵・彫】 タックステンドでステンドカラーを楽しもう
小計		12	
2	8	1	【2学期の学習】 鑑賞・東へ西へ・・・、現代に受けつがれる浮世絵版画
	9	2 2	【絵・彫】 タックステンドでステンドカラーを楽しもう 【絵・デ】 ポスター作り
	10	4	【絵・デ】 ポスター作り
	11	2 2	【絵・彫】 ゴートロープアニメーション 【資料】 西洋美術史
	12	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		15	
3	1	3	【3学期の学習】 【絵・彫】 墨が生み出す豊かな世界・水墨画の技法・日本美術の展開と世界の交流
	2	3	【絵・彫】 水墨画
	3	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		8	
合計		35	

第 3 学年／美術科

授業内容、授業の進め方

- 各領域・事項の系統性を踏まえたうえで、創造活動の喜びを味わい身に付けさせる基礎・基本となる学習を厳選し、生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点を図っています。
- 生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます
- 学習成果を振り返ったり、鑑賞したりすることにより、学習内容の定着を図ります。

持ち物

- 教科書
- 美術資料
- ファイル
- 絵の具
- 雑巾
- 鉛筆・筆記用具
- 色鉛筆
- 彫刻刀
- 篆刻刀
- 墨汁
- 墨汁用の筆

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識及び技能（40％）	思考力、判断力、表現力等（40％）	主体的に学習に取り組む態度（20％）
評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評価規準 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●制作活動の様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●完成作品 	<ul style="list-style-type: none"> ●発言や発表の内容 ●グループワークでの様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●提出物、発表、鑑賞などの内容 ●授業態度

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1 1	【オリエンテーション】 自己紹介シート作り 【デ・絵】 レタリングについて
	5	3	【絵・彫】 彫刻刀で校歌を彫ろう
	6	3 2	【絵・彫】 彫刻刀で校歌を彫ろう 【資料】 東洋美術史
	7	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ 【絵・彫】 夏休み宿題
小計		12	
2	8	1	【絵・彫】 彫刻刀で校歌を彫ろう
	9	2 2	【2学期の学習】 鑑賞 【デ・工】 金屏風の制作（水墨画）
	10	2 2	【デ・工】 金屏風の制作（水墨画） 【デ・工】 アルバム制作
	11	2 2	【デ・工】 アルバム制作 【資料】 西洋美術史
	12	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		15	
3	1	1 2	【3学期の学習】 鑑賞 【デ・工】 篆刻下描き
	2	4	【絵・彫】 篆刻
	3	1	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		8	
合計		35	

第 1 学年／保健体育科

授業内容、授業の進め方

- 心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 生徒一人ひとりの課題に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業の成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、履修内容の定着を図ります。
- 集団の中の一員として行動し、ルールや規律をきちんと守り、社会性を育てます。

持ち物

- 体操服
- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 体育館シューズ
(水泳：水着、水泳帽、タオル、(ゴーグル、ビーチサンダルは希望者のみ)

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	○体育分野 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○体育分野 運動を豊かに実施するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○体育分野 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、心身の機能と発達と心の健康について、個人の生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、心身の機能と発達と心の健康について、個人の生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	●筆記テスト ●技能テスト	●課題等の提出状況と内容（ファイル等） ●筆記テスト	●授業の観察（態度や発表など） ●振り返り等の提出状況と内容

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3 4 3	【男女】体づくり運動 集団行動 ラジオ体操
	5	3 4 2	体育理論 【男】体づくり運動 【男】器械運動
	6	3 6 1	【男】器械運動 保健 【男女】水泳（クロール、平泳ぎ）
	7	4	【男女】水泳（クロール、平泳ぎ）
小計		3 3	
2	8	2	【男女】水泳（クロール、平泳ぎ）
	9	2 1 0	【男女】水泳（クロール、平泳ぎ） 【男】陸上（短距離走、リレー）
	10	8	【男】球技
	11	6 7	保健 【男女】陸上競技（長距離走）
	12	3 8	【男女】陸上競技（長距離走） 【男】球技
小計		4 6	
3	1	2 6 2	【男】球技 保健 【男】球技
	2	8 5	【男】球技 【男】球技
	3	3	【男】球技
小計		2 6	
合計		1 0 5	

気候などの状況により、変更する場合があります。

第 2 学年／保健体育科

授業内容、授業の進め方

- 心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 生徒一人ひとりの課題に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業の成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、履修内容の定着を図ります。
- 集団の中の一員として行動し、ルールや規律をきちんと守り、社会性を育てます。

持ち物

- 体操服
- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 体育館シューズ
(水泳：水着、水泳帽、タオル、(ゴーグル、ビーチサンダルは希望者のみ)

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	○体育分野 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○体育分野 運動を豊かに実施するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○体育分野 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、傷害の防止について、個人の生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、傷害の防止について、個人の生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、傷害の防止について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	●筆記テスト ●技能テスト	●課題等の提出状況と内容（ファイル等） ●筆記テスト	●授業の観察（態度や発表など） ●振り返り等の提出状況と内容

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2	【男女】体づくり運動 集団行動 ラジオ体操 【男】体づくり運動【女】器械運動
		4	
		4	
	5	2	【男】体づくり運動【女】器械運動 体育理論 【男】球技【女】体づくり運動
		3	
		4	
	6	2	【男】球技【女】体づくり運動 保健 【男女】水泳（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ）
		6	
2			
7	4	【男女】水泳（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ）	
小計		3 3	
2	8	2	【男女】水泳（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ）
	9	2	【男女】水泳（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ） 【男女】陸上（短距離走、リレー、走り高跳び）
	10	10	
	10	8	【男】球技【女】球技
	11	6	保健 【男女】陸上（長距離走）
7			
12	3	【男女】陸上（長距離走） 【男】球技【女】球技	
8			
小計		4 6	
3	1	2	【男】球技【女】球技 保健 【男】球技【女】球技
		6	
		2	
	2	8	【男】球技【女】球技 【男】球技【女】ダンス
	5		
3	3	【男女】ダンス	
小計		2 6	
合計		1 0 5	

気候などの状況により、変更する場合があります。

第 3 学年／保健体育科

授業内容、授業の進め方

- 心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 生徒一人ひとりの課題に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業の成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、履修内容の定着を図ります。
- 集団の中の一員として行動し、ルールや規律をきちんと守り、社会性を育てます。

持ち物

- 体操服
- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 体育館シューズ
(水泳：水着、水泳帽、タオル、(ゴーグル、ビーチサンダルは希望者のみ)

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	○体育分野 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○体育分野 運動を豊かに実施するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○体育分野 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人の生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人の生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	●筆記テスト ●技能テスト	●課題等の提出状況と内容（ファイル等） ●筆記テスト	●授業の観察（態度や発表など） ●振り返り等の提出状況と内容

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2	【男女】体づくり運動 集団行動 ラジオ体操 【男】球技 【女】球技
		4	
		4	
	5	5 3 4	【男】球技 【女】球技 体育理論 【男】球技 【女】球技
	6	4 6 2	【男】球技 【女】球技 保健 【男女】水泳（4泳法、リレー）
	7	4	【男女】水泳（4泳法、リレー）
小計		3 8	
2	8	2	【男女】水泳（4泳法、リレー）
	9	2 1 0	【男女】水泳（4泳法、リレー） 【男女】陸上（短距離走、リレー）
	10	8	【男】球技 【女】球技
	11	6 8	保健 【男女】陸上競技（長距離走）
	12	6	【男】球技 【女】球技
小計		4 2	
3	1	4 6 2	【男】球技 【女】球技 保健 【男】球技 【女】球技
	2	5 5	【男】球技 【女】ダンス 体づくり運動
	3	3	【男】球技 【女】ダンス
小計		2 5	
合計		1 0 5	

気候などの状況により、変更する場合があります。

第 1 学年／技術・家庭科（技術分野）

授業内容、授業の進め方

- 技術の見方、考え方を身に付けさせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、技術的な基礎知識と技能の習得に必要な学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を自己評価し、知識や技能を文章で説明できる、思考力、判断力、表現力の定着を図ります。

持ち物

- 教科書、ファイル、筆記用具、教育情報利用パソコン

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能（50%）	思考・判断・表現（30%）	主体的に学習に取り組む態度（20%）
評価 規準	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を身に付け，技術と社会や環境とのかかわりについて理解し、技術を適切に活用できている。	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術のあり方や活用の仕方等について各教科などの知識及び技能を活用して、課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身に付けている。	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち，技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために，主体的に技術を評価し活用し、自らの学習を調整し、粘り強く取り組もうとする。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	● テスト	● 課題の記述内容 ● 作品、技能 ● 発表やワークシートの記述内容	● 準備物や技能 ● 課題などの提出状況と内容 ● ノートやワークシートの記述内容 ● 発言や決まり事への姿勢

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1	技術分野のガイダンス、技術の発達
	5	3	材料と加工法
	6	3	作品の設計と製作
	7	3	設計と製図
小計		10	
2	8	1	作品の製作・作品の作図
	9	4	作品の製作・材料の加工 材料と加工法
	10	4	作品の製作・材料の加工
	11	4	作品の製作・材料の加工
	12	2	作品の組み立て
小計		15	
3	1	3	作品の仕上げ 研磨・塗装等
	2	4	作品の仕上げ
	3	3	作品の鑑賞
小計		10	
合計		35	

第 2 学年／技術・家庭科（技術分野）

授業内容，授業の進め方

- 技術の見方、考え方を身に付けさせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、技術的な基礎知識と技能の習得に必要な学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を自己評価し、知識や技能を文章で説明できる、思考力、判断力、表現力の定着を図ります。

持ち物

- 教科書、ファイル、筆記用具、教育情報利用パソコン

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能（50％）	思考・判断・表現（30％）	主体的に学習に取り組む態度（20％）
評価 規準	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を身に付け，技術と社会や環境とのかかわりについて理解し、技術を適切に活用できている。	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術のあり方や活用の仕方等について各教科などの知識及び技能を活用して、課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身に付けている。	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち，技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために，主体的に技術を評価し活用し、自らの学習を調整し、粘り強く取り組もうとする。
評価 基準			
評価 方法	● テスト	● 課題の記述内容 ● 作品、技能 ● 発表やワークシートの記述内容	● 準備物や技能 ● 課題などの提出状況と内容 ● ノートやワークシートの記述内容 ● 発言や決まり事への姿勢

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1	技術分野ガイダンス
	5	3	材料と加工法
	6	3	材料と加工法、デジタル作品の制作
	7	3	デジタル作品の制作・発表
小計		1 0	
2	8	1	電気を生み出す仕組み エネルギー変換と発電
	9	4	電気を生み出す仕組み エネルギー変換と発電
	10	4	電気製品の製作
	11	4	電気製品の製作
	12	2	電気製品の製作
小計		1 5	
3	1	4	生物育成・デジタル作品の制作
	2	3	デジタル作品の制作
	3	3	デジタル作品の制作・発表
小計		1 0	
合計		3 5	

第 3 学年／技術・家庭科（技術分野）

授業内容、授業の進め方

- 技術の見方、考え方を身に付けさせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、技術的な基礎知識と技能の習得に必要な学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を自己評価し、知識や技能を文章で説明できる、思考力、判断力、表現力の定着を図ります。

持ち物

- 教科書、ファイル、筆記用具、教育情報利用パソコン

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能（50%）	思考・判断・表現（30%）	主体的に学習に取り組む態度（20%）
評価 規準	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を身に付け，技術と社会や環境とのかかわりについて理解し、技術を適切に活用できている。	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術のあり方や活用の仕方等について各教科などの知識及び技能を活用して、課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身に付けている。	材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち，技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために，主体的に技術を評価し活用し、自らの学習を調整し、粘り強く取り組もうとする。
評価 基準			
評価 方法	● テスト	● 課題の記述内容 ● 作品、技能 ● 発表やワークシートの記述内容	● 準備物や技能 ● 課題などの提出状況と内容 ● ノートやワークシートの記述内容 ● 発言や決まり事への姿勢

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1	エネルギーの伝達
	5	3	情報とものづくり
	6	3	情報とものづくり
	7	3	情報とものづくり
小計		10	
2	8	1	情報とものづくり
	9	4	情報とものづくり
	10	4	ものづくり
	11	4	ものづくり
	12	2	ものづくり・作品の発表
小計		15	
3	1	7	デジタル作品の制作・発表 ロボット制御、プログラミングによるロボット制御 計測制御、ロボット制御、仕組みと理解
	2		
	3		
小計		7	
合計		32	

第 1 学年／技術・家庭科(家庭分野)

授業内容，授業の進め方

- 各領域・事項の系統性をふまえたうえで，身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し，生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして，学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を振り返ったり，伝えあったりすることにより，学習内容の定着を図ります。

持ち物

- 教科書
- 技術家庭ノート（ワークノート）
- ファイル（ワークシート）
- 筆記用具
- 実習時は、裁縫道具・体育館シューズ

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能（50%）	思考・判断・表現（30%）	主体的に学習に取り組む態度（20%）
評価 規準	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活について理解している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について理解しているとともに、適切にできる。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活について問題を見いだして課題を設定し（実践に向けた計画を）考え、工夫している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークノート ● ファイル（ワークシート） ● レポート ● 作品作成の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ● 準備物 ● 授業・実習に取り組む態度 ● 授業・実習の振り返り ● ワークノート ● ファイル（ワークシート） ● 作品作成の工夫

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2	家庭分野のガイダンス
	5	2	家族・家庭の機能
		2	家庭生活の協力・協働
	6	2	衣服の役割
	7	2	TP0・着方の工夫
小計		1 0	
2	8	9	作って楽しい布作品
	9	3	衣服計画と必要な衣服の選択
	10		
	11 12	3	衣服の手入れ
小計		1 5	
3	1	2	住まいの役割
		2	住まいと気候風土の関わり
	2	2	健康で快適な室内環境
		1	安全・安心な住まい
	3	1	災害への対策
		2	作って楽しい布作品
小計		1 0	
合計		3 5	

第 2 学年／技術・家庭科(家庭分野)

授業内容，授業の進め方

- 各領域・事項の系統性をふまえたうえで，身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し，生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
 - 学習目標を明確にして，学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を振り返ったり，伝えあったりすることにより，学習内容の定着を図ります。

持ち物

- 教科書
- 技術家庭ノート（ワークノート）
- ノート（ワークシート）
- 筆記用具
- 実習時は裁縫道具、エプロン・三角きん・マスク、体育館シューズ

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能（50%）	思考・判断・表現（30%）	主体的に学習に取り組む態度（20%）
評価 規準	衣食住の生活について理解している。 衣食住の生活について理解していると ともに、適切にできる。	衣食住の生活について問題を見いだし て課題を設定し（実践に向けた計画 を）考え・工夫している。 衣食住の生活について、実践を評価し たり、改善したりしている。 衣食住の生活についての課題解決に向 けた一連の活動について、考察したこ とを論理的に表現している。	衣食住の生活について、課題の解決に 主体的に取り組もうとしている。 衣食住の生活について、課題解決に向 けた一連の活動を振り返って改善しよ うとしている。 衣食住の生活について工夫し創造し、 実践しようとしている。
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークノート ● ノート（ワークシート） ● レポート ● 作品作成の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ● 準備物 ● 授業・実習に取り組む姿勢 ● 授業・実習の振り返り ● ワークノート ● ノート（ワークシート） ● 作品作成の工夫

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4 5 6 7	2	食事の役割
		2	健康に良い食習慣
		2	中学生に必要な栄養素
		2	食品に含まれる栄養素
		2	6つの食品群
小計		10	
2	8 9 10 11 12	4	布を用いた物の製作
		2	食品群別摂取量の目安
		3	生鮮食品・加工食品の特徴
		5	調理をしよう
		1	日本の食文化
小計		15	
3	1 2 3	2	バランスの良い献立作り
		2	食品の保存と食中毒の防止
		6	布を用いた物の製作
小計		10	
合計		35	

第 3 学年／技術・家庭科(家庭分野)

授業内容，授業の進め方

- 各領域・事項の系統性をふまえたうえで，身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し，生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして，学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を振り返ったり，伝えあったりすることにより，学習内容の定着を図ります。

持ち物

- 教科書
- 技術家庭ノート（ワークノート）
- 筆記用具
- 実習時は、裁縫道具、エプロン・三角きん・マスク、体育館シューズ

評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能(5 0 %)	思考・判断・表現(3 0 %)	主体的に学習に取り組む態度(2 0 %)
評価 規準	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について理解している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について理解しているとともに、適切にできる。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について問題を見い出して課題を設定し（実践に向けた計画を）考え、工夫している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価 基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ● テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークノート（ワークシート） ● レポート ● 作品作成の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ● 準備物 ● 授業・実習に取り組む態度 ● 授業・実習の振り返り ● ワークノート（ワークシート） ● 作品作成の工夫

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4 5 6 7	2	消費生活と契約
		2	購入方法と支払い方法
		2	計画的な金銭の管理
		2	消費者トラブルとその対策
		2	布を用いた物の製作
小計		1 3	
2	8 9 10 11 12	5	布を用いた物の製作
		2	消費者の権利と責任
		1	省エネルギーと持続可能な社会
		2	幼児の体の発達・幼児の心の発達
		4	調理をしよう
		1	幼児の生活習慣
小計		1 2	
3	1 2 3	1	幼児の生活と遊び
		1	遊びを豊かにする物
		5	布を用いた物の製作
小計		7	
合計		3 2	

第 1 学年／英語科

授業内容、授業の進め方

- ・はっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題について、おおまかな内容を捉えることができる。（聞く力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、おおまかな内容を捉えることができる。（読む力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文を使って、やり取りをすることができる。（話す力（やり取り））
- ・ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある内容を話すことができる。（話す力（発表））
- ・日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。（書く力）
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組む。
- ・個人、ペアワーク、グループワークなど、さまざまな形態で言語活動を行う。
- ・学習成果を振り返り、学習内容の定着をはかる。

持ち物

- ・教科書 Here We Go! ENGLISH COURSE1
- ・ノート（B5ノート 4線不要）
- ・ワークブック ・E-PILOT（英語資料集） ・ファイル ・（英和辞典）

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	<p>○「知識」について 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>○「技能」について ・「話すこと（やり取り）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p> <p>・「書くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p> <p>・「聞くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>・「読むこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p> <p>・「書くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p> <p>・「聞くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p>・「読むこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>・「書くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p> <p>・「聞くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしている。</p> <p>・「読むこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・ノート・ワークシート等提出物</p>	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・スピーチ・プレゼン等発表</p> <p>・レポート・ノート・ワークシート等提出物</p>	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・振り返りシート・ノート・ワークシート等提出物</p>

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	12	気持ちや状態を表す語 色を表す語 国の名前 数を表す語 日付や月を表す語 アルファベット 英語の音とつづり I am～.
	5	14	I like～./I don't like～. I can～./I can't ～. ローマ字 Are you～?
	6	16	Do you～? Can you～? What do you～? I like dancing. I want to～.
	7	10	How many ～? am,are/一般動詞/can 既習の表現
小計		52	
2	8	2	He is～./She is～.
	9	14	Who is～? Is this～?/This isn't～. Whose ～?
	10	16	代名詞 Turn on your camera. Where ～? When ～?
	11	16	Can I have～ ? Which would you like, ～or…? How much ～ ? How many ～ ? She likes ～. Does she～? She doesn't～. What time ～ ?
	12	10	is/3 人称単数現在形 How ～? How long ～? 疑問詞 既習の表現
小計		58	
3	1	12	I went ～. Did you ～? It was ～.
	2	16	動詞の過去形 既習の表現 I am baking～. Are you baking～? I was shopping～. 既習の表現
	3	12	現在進行形/過去進行形 既習の表現
小計		40	
合計		150	

第 2 学年／英語科

授業内容、授業の進め方

- ・はっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題について、おおまかな内容を捉えることができる。（聞く力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、おおまかな内容を捉えることができる。（読む力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文を使って、やり取りをすることができる。（話す力（やり取り））
- ・ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある内容を話すことができる。（話す力（発表））
- ・日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。（書く力）
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組む。
- ・個人、ペアワーク、グループワークなど、さまざまな形態で言語活動を行う。
- ・学習成果を振り返り、学習内容の定着をはかる。

持ち物

- ・教科書 Here We Go! ENGLISH COURSE2
- ・ノート
- ・ワークブック ・ファイル ・（英和辞典）

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「知識」について 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>○「技能」について ・「話すこと（やり取り）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p> <p>・「書くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p> <p>・「聞くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>・「読むこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p> <p>・「書くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p> <p>・「聞くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p>・「読むこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>・「書くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p> <p>・「聞くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしている。</p> <p>・「読むこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・ノート・ワークシート等提出物</p>	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・スピーチ・プレゼン等発表</p> <p>・レポート・ノート・ワークシート等提出物</p>	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・ノート・ワークシート等提出物</p>

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	12	I went ~./How was~? When I ~,... They looked happy.
	5	14	This is ~. Can you ~? I don't like playing ~. Hajin wants to ~. I think (that) ~.
	6	16	動名詞 不定詞 (名詞的用法) I'm going to~. It will~. If you are ~. be going to/will
	7	10	Shall I ~? Would you like ~?
小計		52	
2	8	2	既習の言語材料
	9	14	There is~./There are~. Show me your guidebook. something to cover 目的語
	10	16	must / must not have to / don't have to It's ~ (for us) to ... May I ~? how to ~ Could you tell me the way to ~? should
	11	16	助動詞 She's here to help Fred. ~ because ... I'm glad to hear ~. 不定詞 (形容詞的用法・副詞的用法) 接続詞
	12	10	既習の言語材料
小計		58	
3	1	12	bigger than / the biggest more exciting / the most exciting as tired as ~ 比較表現
	2	16	want you to help ~ make me nervous was received by ~ 受け身の文
	3	12	既習の言語材料
小計		40	
合計		150	

第 3 学年／英語科

授業内容、授業の進め方

- ・はっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題や社会的な話題について、要点を捉えることができる。（聞く力）
- ・日常的な話題や社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、要点を捉えることができる。（読む力）
- ・聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を使って、要点や自分の考えなどを伝え合うことができる。（話す力（やり取り））
- ・聞いたり読んだりしたことについて、気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、要点や自分の考えなどを話すことができる。（話す力（発表））
- ・聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を使って、要点や自分の考えなどを書くことができる。（書く力）
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組む。
- ・個人、ペアワーク、グループワークなど、さまざまな形態で言語活動を行う。
- ・学習成果を振り返り、学習内容の定着をはかる。

持ち物

- ・教科書 Here We Go! ENGLISH COURSE3
- ・ノート
- ・ワークブック ・ファイル （英和辞典）

評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	<p>○「知識」について 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>○「技能」について ・「話すこと（やり取り）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p> <p>・「書くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p> <p>・「聞くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>・「読むこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p> <p>・「書くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p> <p>・「聞くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p>・「読むこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>・「話すこと（発表）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>・「書くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p> <p>・「聞くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしている。</p> <p>・「読むこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
評価 基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価 方法	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・ノート・ワークシート等提出物</p>	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・スピーチ・プレゼン等発表</p> <p>・レポート・ノート・ワークシート等提出物</p>	<p>・テスト</p> <p>・観察</p> <p>・振り返りシート・ノート・ワークシート等提出物</p>

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	9	Unit1 Virtual Safari Tour ・受け身の文 ・let/help+人・もの+動詞の原形 ・tell+人+that+文の構文
	5	11	Daily Life1 計画を立てよう ・既習の表現 Unit2 Our School Trip ・現在完了形（完了） ・現在完了形（経験） Daily Life2 留守番電話 ・既習の表現
	6	11	Unit3 Lessons From Hiroshima ・現在完了形（継続） ・現在完了進行形 ・疑問詞+ to+動詞の原形 Active Grammar1 ・現在完了形/現在完了進行形
	7	7	Let's Read1 Visas for 6,000 Lives ・既習の表現 You Can Do It!1 学校生活について意見をまとめよう ・既習の表現 World Tour1 Speak Up!
小計		38	
2	8	2	Unit4 AI Technology and Language ・関係代名詞（主格）which,who,that
	9	11	・関係代名詞（主格）which,who,that Let's Read2 Living with Robots ・既習の表現
	10	10	Daily Life3 レシピ ・既習の表現 Unit5 My Dreams for the Future ・関係代名詞（目的格）which,that ・後置修飾（主語+動詞）
	11	10	Daily Life4 講演 ・既習の表現 Unit6 The Chorus Contest ・動詞の～ing による後置修飾 ・過去分詞による後置修飾 ・間接疑問文
	12	5	Active Grammar2 ・後置修飾 You Can Do It!2 持続可能な社会に向けレポートしよう ・既習の表現 World Tour2 If the World Were a Village of 100 People
小計		38	
3	1	9	Unit7 Tina's Speech ・仮定法の構文 Let's Read3 Changing the World ・既習の表現
	2	10	Let's Read3 Changing the World Active Grammar3 ・仮定法 Unit8 Goodbye, Tina ・既習の表現
	3	10	You Can Do It!3 自分たちのこれからに言葉を贈ろう ・既習の表現 Let's Read More1 Elections in Norway ・既習の表現 Let's Read More2 Fight for Equality ・既習の表現 Let's Read More3 A story from The Adventures of Tom Sawyer ・既習の表現
小計		29	
合計		105	